

会 議 録

1	会議名称	第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
2	日 時	平成27年9月26日（土）午後7時30分から
3	場 所	生涯学習センターさくらドーム21 2階 視聴覚室
4	出席委員	笹山委員、高松委員、宇野委員、津田委員、上野委員、宮本委員、北橋委員、中西委員、西本委員、杖村委員（代理：久志野氏）、坂本委員、谷口委員、山田委員、戸部委員、元屋委員、千葉委員、今江委員、昔農委員、守田委員（欠席：山加委員）
5	事 務 局	松栄企画振興課長 <small>（総合計画担当）</small> 、金田総務課長補佐、松浦企画振興課長補佐、南谷企画振興課主任、松本財政課主任、守田企画振興課主任
6	議 題	<ol style="list-style-type: none"> 1 開 会 2 会長あいさつ 3 議 題 <ol style="list-style-type: none"> （1）専門部会による施策中間取りまとめ案について （2）推進会議委員提案取りまとめ結果について 4 そ の 他 5 閉 会
7	議 事 会 長	<p><開会></p> <p><u>1 会長あいさつ</u></p> <p>本日はお忙しいところ、また、貴重な休日にもかかわらず皆様のご出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>また、前回8月10日に開催いたしました第1回推進会議において、皆様にご依頼申し上げました「総合戦略に盛り込む施策提案」につきましては、非常に多くのご意見、ご提案をいただきましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。</p> <p>さて、本日は、第2回目の会議となるわけですが、前回の会議では、説明に終始した格好となりましたが、今回の会議では、皆様からの積極的なご意見やご提案を頂戴したいと考えております。</p> <p>この総合戦略につきましては、現在、各自治体においても策定に向けて取り組んでいるところであり、最近では、石川県が5つの基本目標を軸とした、中間取りまとめ案を作成し、9月末までパブリックコメントを募集していると聞き及んでおります。</p> <p>こうした中ではございますが、宝達志水町では、宝達志水町らしい総合戦略の策定に向けて委員の皆様からのお力を賜りたいと思いますので、本日も慎重なるご審議の程よろしくお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">— ワークショップ形式によるグループ討議 —</p>

Aグループ

2 主な意見

- ・既に町にあるもの（イチジク、ブドウ、チンゲン菜、宝達くず等）を活用し、後継者不足をPRし、新規就農者を募集してはどうか。
- ・ブドウの農家が30件あるが、後継者が決まっているところは1件しかないため、町が仲介役となればどうか。
- ・学校給食の地産率を現在の40%から60～70%に引き上げる。自然栽培のスタイルが若者に受けている。
- ・オムライスの町でもあるので食を中心とした方が良い。
- ・農業がうまく回るようにPRが大事である。
- ・今、企業誘致は難しい。企業の撤退が早い。
- ・ベンチャー企業を呼ぶためには、環境が整っていないと難しいため、相応な準備しなければならない。
- ・明治大学農学部の学生が来ているので、受け皿を整えて農家を受け継ぐサポート体制を作ったらどうか。
- ・県内の学生にも1, 2年生から体験させ交流を図ればどうか。
- ・イノシシを町でも食べられる環境を作ってはどうか。
- ・イチジクとモーゼの墓をリンクできないか。
- ・空き家対策をうまくやらないとだめ。
- ・健康づくりは、町の大きな柱としたらよい。
- ・今は、予防医学がポイントであり、志賀町では、その一家にどんな病気があるのかDNA的な取り組みを行っている。
- ・山形県酒田市では、子供の時に虫歯にならないと大人になっても虫歯がない人が多いとデータ検証している。食と連動させてこのような取り組みも良いのではないか。
- ・のと里山海道からなぎさドライブウェイに降ろし、「のとオムライス街道」を作り宝達山頂に寄ってもらう仕掛けを作ってはどうか。
- ・様々なことをリンクさせ、交流の仕掛けを作ってはどうか。（町の観光パンフに目玉がない。）
- ・のと里山海道のI.C及びP.Aの名称変更に取り組んではどうか。（宝達志水町と分かる名称に変更する。）
- ・鐘のなるまちの発信に取り組んではどうか。（町内の寺全てが一斉に鐘を鳴らす。観光者に鳴らす体験をさせてはどうか。）
- ・行政に結婚相談窓口を設けてはどうか。
- ・教育環境の充実対策として、英語に特化するのであれば、お菓子作りの英語教室とか、学校で家庭科の授業に取り組むとか、若い奥さんを対象としたクッキング教室と組み合わせるなど、ひとひねりが大事である。
- ・地域の外国人の方を活用してはどうか。
- ・交流の場を作ればよい。宝達山サミット等に取り組んではどうか。
- ・人が入ってくれば、その他の全てがうまく回るのではないか。

Bグループ

- ・農産物の6次産業化を実施してはどうか。
- ・今ある町の農産物をしっかりPRしてはどうか。
- ・県都金沢まで距離が、近いということを利用者及び事業者にもPRしてはどうか。
- ・空き家バンクや賃貸住宅の誘致のために、他市町村では大きな金額を助成している
- ・新志雄病院で人間ドックの検査を実施し、ダイヤモンドホテル跡に宿泊をしてもらうためのホテルを建てればどうか。
- ・若い人とシニアの考え方が違うため、若い人は「ダイヤモンドホテル跡利用事業」でオートキャンプ場みたいなものを建設し利用してもらえばいいし、シニアの方は、「空き家バンク事業」を利用して貰えばどうか。
- ・以前、商工会等が主催で婚活支援を実施していたが継続してやってほしい。
- ・姉妹都市（下呂市）と連携した婚活支援を実施してはどうか。
- ・青年団活動や各種イベントにもっと女性の参加を促してはどうか。
- ・病院の夜間受付時間など充実してほしい。また、産婦人科を増やしてはどうか。
- ・新志雄病院と周辺の遊休地を活用し、コミュニティ空間を利活用してはどうか。
- ・近隣市町を巻き込んで、地域の連携ができればいい。
- ・道の駅的な、特産品市場があればいい。
- ・町もいろんな制度をしているのだからもっとPRをしてほしい。

Cグループ

- ・ベンチャー企業を誘致する事業は全国にごまんとある中で成果があげられるのか。実施するにしても、主産業の農業と関係のある六次産業化などに特化したらどうか。
- ・新しく企業誘致するのも必要だが、それよりも既存の企業が出て行かないようにすべきではないか。
- ・働く場所の確保という観点も大事だが、実際には時間もかかり、効果が現れるには時間がかかる。ベッドタウンとしての生き残りが現実的ではないか。
- ・企業誘致より金沢、七尾、高岡の通勤圏（自家用車で40～50分）を活かした、ベッドタウンとしての売り込みをすべきではないか。
- ・今住んでいる人を出て行かないようにするためには、通勤サポート事業を実施すべき。子育て世代等（中学卒業（義務教育）までに限定）に限定すれば実施可能ではないか。
- ・子育て支援は他市町と横並びで良いのではないか。それよりも教育に注力すべきで、他にないものを選ぶ傾向が強いと感じる。

Dグループ

- ・ 町内の若者が結婚や就職で、実家を一旦離れる場合の住宅整備が必要ではないか。民間事業者が参入しやすくなるような助成等の整備を検討してはどうか。
- ・ 町のコンパクト化は必須であり、中山間地域に济む単身高齢者にどう訴えるかが課題ではないか。
- ・ オムライスで町づくりをしているようだが、こじつけ感がある。
- ・ 既に町には訴求力のある農産品はある。それを活用してもよいのではないか。
- ・ 真面目に農産物を作るだけでなく、町としてPRをすることも重要ではないか。
- ・ 既に起業した企業を呼ぶよりは、起業支援を重視すべき。
- ・ 企業誘致ができればよいが、現実的には困難と思われる、町独自性を備えた企業が来るとも限らない。
- ・ 起業支援の地区・ブロックを明示し、集積してはどうか。それにより、発信力を向上させ、起業の集積による相乗効果も期待できる。
- ・ 町独自の資源として、何があるかを列挙し、情報提供することで、起業マインドの喚起、起業のための転入を促すことができるのではないか。
- ・ 都会の方で、地方で農業をしたい意志がある人材は、一定程度いるはずで、「空き家バンク」とともに、「空き農地バンク」も一体で提案すれば、住まいと就業をセットで情報発信できるのでよいのではないか。
- ・ のと里山海道無料化により、金沢から近いことを、町外の方は知らないのではないか。そのためPRを十分にすることが必要ではないか。
- ・ 家を建ててもらうために、地価が安いこともPRしてもよいのではないか。
- ・ 宝達山に「山の龍宮城」があるため、海にもランドマークとなるものが必要ではないか。
- ・ 教育環境の充実対策として、英語教育に特化するのであれば、一日英語しか話さないなど、徹底することで、メディアにも取り上げてもらえ、また、ターゲットも「教育に力を入れる家庭」と絞ることができ、訴求力が上がるのではないか。
- ・ 特化する分野は、ITや英語でよいのか。本町の特性は、ITや英語にあるのか、その指導をできる人材がいるのか。
- ・ 「起業支援」を教育プログラムに入れてはどうか。
- ・ 乳幼児医療の無償化・現物給付化になり、子育て世帯としては大変助かるが、制度を知らない、他市町より範囲が広いこと知らないのではないか。
- ・ 各種施策をうまくPRできていないのではないか。
- ・ 町域が広く、人口密度が低いため、人口減少社会、消滅可能性自治体が浸透している今、区割りを見直してコミュニティを広げるべきで、そうでないと、将来コミュニティが維持できなくなるのではないか。

<p>Eグループ</p> <p>会長</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・行政全般で、若年層の意見を取り入れる仕組みが必要ではないか。 ・人口減少問題は重要なことなので、全町民へ知ってもらうよう、周知が必要ではないか。 ・県内において、宝達志水町の知名度が低い。 ・各イベントをする際にも、町名を全面的に出しPRしないと、いつまでも旧押水町・旧志雄町から脱却できないのではないか。 <ul style="list-style-type: none"> ・新たなブランド品等を起ち上げるよりも、既存の魅力ある資源（イチジク、宝達葛等）を再度、掘り起して活用してはどうか。 ・介護施設が充実している町であるが、介護職が人材不足となっているため、宝達高校に「介護職専門コース」を設けるなどで、卒業後の地元就職につなげてはどうか。 ・若年層が結婚しないのは、結婚資金が多額であることに問題を抱えている可能性もあるのではないか。結婚後、定住する方を対象に、お祝い金を支給してもいいのではないか。 ・町内に安心して子供を遊ばせることが出来る公園が無い。公園は絶対に必要ではないか。 ・安心した子育てのためにも町内に小児科が必要ではないか。 <p>どうもありがとうございました。</p> <p>各グループよりいただいたご意見・ご提案につきましては、事務局にて再度取りまとめを行ったのち、改めて第3回目の推進会議において、ご審議賜りたいと思います。</p> <p>それでは、本日は長時間にわたりご審議をいただき、誠にありがとうございました。</p> <p>これをもちまして第2回まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議を終了いたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>＜閉会＞</p>
<p>8 資 料</p>	<p>資料1 専門部会による施策中間取りまとめ案</p> <p>資料2 推進会議委員提案取りまとめ結果</p>